ダイヤモンドOAについて

東京大学附属図書館／JPCOARイベント運営作業部会

下城 陽介

（shimojo.yosuke@mail.u-tokyo.ac.jp）

2022年11月25日（金）

CC BY SA

目次（本日の発表内容）

① ダイヤモンドOAとは？

② ダイヤモンドOAの提言

③ 問題提起

① ダイヤモンドOAとは？

ダイヤモンドOA（Diamond Open Access）とは、**読者は購読料を、著者は論文投稿料・掲載料**（APC: Article Processing Charge）**を、支払わずに出版するオープンアクセスジャーナル**（論文）**の出版モデル**のこと。プラチナOA（Platinum OA）と呼ばれることもある。

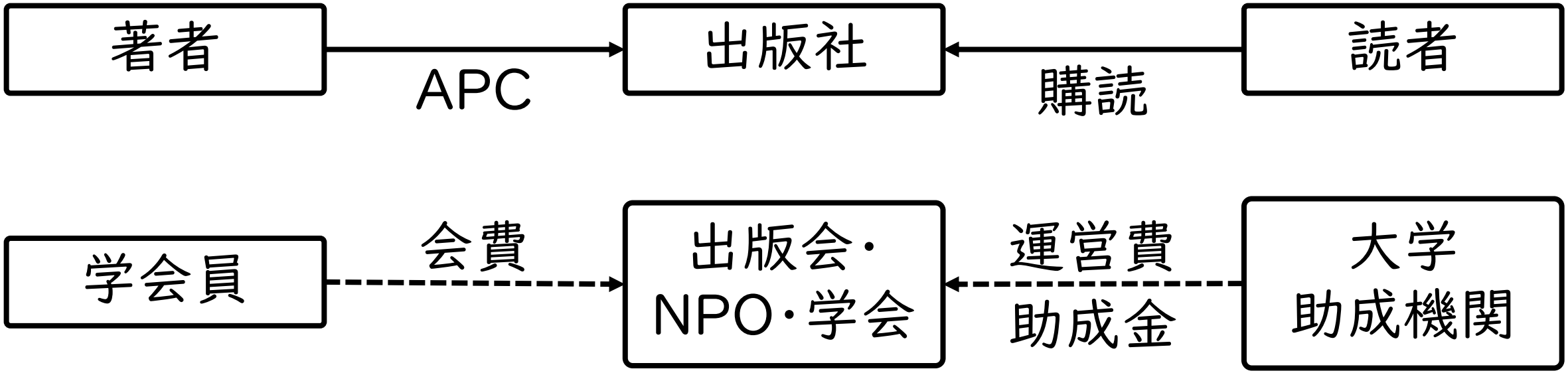
論文出版に必要な経費（校閲・編集・連絡調整・査読・サーバの管理・メタデータの登録など）を研究助成機関や大学などの研究機関が負担するか、学会の会員がボランティア（無償）で賄っている。

Diamond open access（Wikipedia）, https://en.wikipedia.org/wiki/Diamond_open_access

① ダイヤモンドOAとは？

つまり、**お金がかからないというわけではない**。

言い換えると、（著者のAPCで営利企業が出版する）**ゴールドOAの非営利形態**（APCが0円で非営利組織が出版する）がダイヤモンドOAということである。



① ダイヤモンドOAとは？

- **資金提供者**：国の助成機関、政府、民間財団、その他助成を行う立場にある組織など。
- **研究機関**：大学または研究実施機関（研究部門、大学出版会、図書館を含む）、その他すべての公的研究実施機関。
- **学会**：特定の研究分野における知識の発展を支援する独立した学術団体、学識者団体、財団。
- **インフラ**：OAダイヤモンドジャーナル公開のために、校正、組版、システム構築など、技術的作業を行うための支援を提供する組織。

Bosman, Jeroen, Frantsvåg, Jan Erik, Kramer, Bianca, Langlais, Pierre-Carl, & Proudman, Vanessa. 2021. OA Diamond Journals Study. Part 1: Findings. Zenodo. https://doi.org/10.5281/zenodo.4558704

② ダイヤモンドOAの提言

■ UNESCO Recommendation on Open Science

オープンサイエンスとは、**多言語の科学知識を誰もが自由に利用でき、アクセスでき、再利用できる**ようにし、科学と社会の利益のために科学的共同研究と情報の共有を促進し、科学知識の創造、評価、伝達のプロセスを従来の科学界を超えて社会的アクターに開放しようとする様々な運動と実践を統合した包括的な概念として定義されるものです。

UNESCO Recommendation on Open Science, 2021,
https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000379949.locale=en

② ダイヤモンドOAの提言

■ UNESCO Recommendation on Open Science

学術出版物への即時アクセスが支払いと引き換えでのみ許可される有料の出版方法は、本勧告に沿うものではありません。著作権の第三者への譲渡または使用許諾が、学術出版物への即時オープンアクセスという公衆の権利を制限するべきではない。

UNESCO Recommendation on Open Science, 2021,
https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000379949.locale=en

② ダイヤモンドOAの提言

◘ BOAI20（THE BUDAPEST OPEN ACCESS INITIATIVE: 20TH ANNIVERSARY RECOMMENDATIONS）

経済的な理由で著者を排除しない、包括的な出版・流通経路を支持する。**リポジトリやAPC不要のジャーナル（「グリーン」「ダイヤモンド」OA）をフルに活用する。論文処理料（APC）を廃止する。**

THE BUDAPEST OPEN ACCESS INITIATIVE: 20TH ANNIVERSARY RECOMMENDATIONS, 2022.3.15, https://www.budapestopenaccessinitiative.org/boai20/
岡部晋典, BOAIが20周年を記念して新たな推奨事項をリリース, カレントアウェアネス-E, No.441, 2022.8.18, https://current.ndl.go.jp/e2526

② ダイヤモンドOAの提言

◘ BOAI20

より多くの大学、資金提供者、そして政府は、**ダイヤモンドOAに対する道徳的な支援にとどまらず、財政的な支援も行うべき**である。教員や助成対象者が管理・編集するダイヤモンド・ジャーナルに直接貢献することもできるだろう。APCを支払っている大学や資金提供者は、その資金をダイヤモンドOAジャーナルのサポートに向け、その割合を増やしていくべきである。**図書館は、購読予算から同じ目的のために資金を振り向けるべき**である。

THE BUDAPEST OPEN ACCESS INITIATIVE: 20TH ANNIVERSARY RECOMMENDATIONS, 2022.3.15, https://www.budapestopenaccessinitiative.org/boai20/

② ダイヤモンドOAの提言

◘ Plan S

2021年より、国内、地域、国際的な研究評議会や助成団体から提供される公的または私的な助成金による研究成果に関するすべての学術出版物は、**オープンアクセス誌、オープンアクセス・プラットフォームで出版するか、オープンアクセスリポジトリからエンバーゴなしに直ちに利用できるようにしなければならない。**

Plan S. Principles and Implementation, https://www.coalition-s.org/addendum-to-the-coalition-s-guidance-on-the-implementation-of-plan-s/principles-and-implementation/
林 豊, Plan S:原則と運用, 情報の科学と技術, 2019, 69 巻, 2 号, p. 89-93, https://doi.org/10.18919/jkg.69.2_89
佐藤 翔, 図書館情報学の窓から[第4回] Plan Sがやって来る ヤァ! ヤァ! ヤァ!(前):オープンアクセスのこれまで,
https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2019/PA03336_02
佐藤 翔, 図書館情報学の窓から[第5回]Plan Sがやって来る ヤァ! ヤァ! ヤァ!(中):オープンアクセスの限界と、打破する方法の模索,
https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2019/PA03341_03
佐藤 翔, 図書館情報学の窓から[第6回] Plan Sがやって来る ヤァ! ヤァ! ヤァ!(後):Plan Sに乗るか否か?,
https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2019/PA03345_05

② ダイヤモンドOAの提言

◘ Action Plan for Diamond Open Access

持続可能でコミュニティ主導のダイヤモンド学術コミュニケーションの生態系（エコシステム）をさらに発展・拡大させるための優先的な活動を提供するものです。ダイヤモンド・オープンアクセス・ジャーナルとプラットフォームを、この分野の強みである文化的、多言語、学問的多様性を尊重した共通の原則、ガイドライン、品質基準に基づいてまとめることを目的としています。

Ancion, Zoé, Borrell-Damián, Lidia, Mounier, Pierre, Rooryck, Johan, & Saenen, Bregt. (2022). Action Plan for Diamond Open Access. Zenodo. https://doi.org/10.5281/zenodo.6282403

③ 問題提起

◘ 日本はダイヤモンドOA出版を推進するのか？

→する？ しない？

◘ するとしたら、どこがどのように旗を振るのか？

→研究者（学会）？ 図書館（JPCOAR）？

　インフラ（科学技術振興機構）？ 出版社（各機関の出版会）？

→資金は？ 人材は？ 体制は？